

琉球大学病院の名称変更について（お知らせ）

日頃から、琉球大学病院の医療活動に対してご理解・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

琉球大学医学部附属病院は、令和2年4月1日をもって、琉球大学病院と名称を変更しましたので、お知らせいたします。

琉球大学医学部附属病院は、1970年（昭和45年）に琉球大学附属病院として開設され、沖縄県における地域医療の向上、高度・先進医療の県民への提供、地域やアジアに根ざした医学研究の推進に尽力してまいりましたが、本年は、病院開設から50周年の節目の年を迎えることとなりました。現在では、600の病床、21の診療科と39の中央診療施設等、薬剤部、看護部を有し沖縄県において唯一の特定機能病院としての責務を果たしております。

そのような中、この度の病院の名称変更は、医療の質と安全性の高い医療を提供するための病院ガバナンス改革の一環としてなされたものであり、これまでの医学部の附属施設としての位置付けから、大学附属病院に変更され、病院の機能強化が一層推進されることが期待されます。

また、2024年度の医学部及び大学病院の西普天間住宅跡地へのキャンパス移転も4年後に迫っており、移転後も、沖縄県における中核病院として、がんや救急医療、移植医療等への対応強化、災害対応や遠隔診療等の更なる充実を図ることとしており、より高度な医療水準の向上を目指しております。

新たな名称とともに、琉球大学病院が、地域の皆様にとって、より身近な存在となり、親しみが持てる病院となれば幸甚に存じます。

令和2年4月1日

琉球大学病院長

大屋 祐輔